

## 除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ MZHG0JG 系統（食品）に係る食品健康影響評価について

### 1. 経緯

「除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ MZHG0JG 系統」については平成 29 年 2 月 15 日付けでシンジェンタジャパン株式会社より遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

### 2. 評価依頼品種の概要

本申請品目は、除草剤グリホサート及びグルホシネートに対する耐性を付与するために、*mepsps-02* 遺伝子及び *pat-09* 遺伝子を導入したものである。

*mepsps-02* 遺伝子はトウモロコシに由来し、グリホサート存在下でも活性を示す mEPSPS タンパク質を産生することによってグリホサート耐性を付与する。

*pat-09* 遺伝子は *Streptomyces viridochromogenes* Tü494 株に由来し、産生される PAT タンパク質は、除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することで、グルホシネートに対する耐性が付与される。

### 3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違はない。

### 4. 諸外国における申請等

申請国等	申請・確認年月	申請先
米国	2016 年 2 月確認終了	米国食品医薬品局 (FDA)
カナダ	2016 年 5 月確認終了	カナダ保健省 (HC)
オーストラリア/ニュージーランド	2016 年 4 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)